【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【公開番号】特開2009-162544(P2009-162544A)
【公開日】平成21年7月23日(2009.7.23)
【年通号数】公開・登録公報2009-029
【出願番号】特願2007-340260(P2007-340260)
【国際特許分類】
*Ｇ０１Ｄ　5/245　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｄ　5/245　Ｖ

【手続補正書】
【提出日】平成22年12月22日(2010.12.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
検出用パターンを有し、ベース機器の回転部に取付可能な回転符号部と、前記検出用パターンを検出可能な検出部と、該検出部が固定されて前記ベース機器の非回転部に取付可能な枠体とを備え、前記回転部と前記非回転部との相対回転を検出可能なエンコーダにおいて、
前記回転符号部と前記検出部とが所定の相対検出位置となるように、前記回転符号部を前記枠体に係止可能な符号部係止手段と、前記枠体と連結され、前記符号部係止手段により係止された前記回転符号部の回転軸に沿ってスライド可能な芯出し部材とを備え、
前記枠体に係止された前記回転符号部を前記回転部に同軸に連結した状態で、前記芯出し部材を前記枠体に対してスライドさせて前記非回転部に固定可能であると共に、
前記芯出し部材を前記非回転部に固定した状態で、前記回転符号部との係止を解除して前記枠体を前記芯出し部材に対してスライドさせて前記非回転部に固定可能に構成したことを特徴とするエンコーダ。
【請求項２】
前記回転符号部は、前記ベース機器の前記回転部が固定される回転部固定位置を有し、
前記芯出し部材は、前記枠体が固定される枠体固定位置を有し、
前記回転部固定位置に前記回転部が固定されると共に、前記枠体固定位置に前記枠体が固定されることで、前記回転符号部が前記検出部に対して所定の相対検出高さに配置されることを特徴とする請求項１に記載のエンコーダ。
【請求項３】
前記芯出し部材は、前記枠体の外周部に摺動可能に連結することを特徴とする請求項１又は２に記載のエンコーダ。
【請求項４】
前記芯出し部材は、前記枠体の外周部に摺動可能に連結させる連結摺動部を備えることを特徴とする請求項３に記載のエンコーダ。
【請求項５】
前記連結摺動部は、前記枠体の外周部又は内周部に摺動可能に連結させる突起突出部を備えることを特徴とする請求項４に記載のエンコーダ。
【請求項６】

前記枠体と前記芯出し部材とを収縮させた状態で係止可能な収縮係止部を備えることを特徴とする請求項１乃至５の何れか一つに記載のエンコーダ。
【請求項７】
前記枠体と前記芯出し部材との相対回転を阻止する回転係止部を備えたことを特徴とする請求項１乃至６の何れか一つに記載のエンコーダ。
【請求項８】
前記符号部係止手段は、前記枠体に設けられて前記回転符号部を回転軸に沿う方向に嵌合可能な符号部嵌合部を備え、
前記回転符号部が前記検出部に対して所定の相対検出高さに配置された状態で前記符号部嵌合部の嵌合状態が解除されることを特徴とする請求項１乃至７の何れか一つに記載のエンコーダ。
【請求項９】
前記符号部係止手段は、前記符号部嵌合部に嵌合された前記回転符号部と係止及び解除可能な高さ係止片を備え、該高さ係止片が係止されることで、前記回転符号部の前記回転軸に沿う方向の移動が阻止されることを特徴とする請求項８に記載のエンコーダ。
【請求項１０】
前記検出部は、前記枠体の互いに異なる位置に複数固定されていることを特徴とする請求項１乃至９の何れか一つに記載のエンコーダ。